

校長だより

兵庫県立伊川谷高等学校

July 7th, 2022

主体的、対話的で深い学びの実現に向けて…授業改善に向けた取組

■授業改善に向けた考え方

- 「日本の授業と学びのイノベーションは、諸外国と比較して25年ほど遅れていた。私は33カ国700校の学校を訪問してきたが、現在、黒板と教卓があって子どもたちが一斉に前を向いた一斉授業を行っている地域は、北朝鮮、中国、ロシアの農村部、アフリカ南部だけである。」(佐藤学「内外教育」(令和4年6月24日)より)
- 佐藤学氏は、日本で授業改善をすすめることができなかつた原因について、急激なグローバル化の進展に対応して各国が授業の形態を変化させるきっかけとなった1989年当時、日本がバブル経済の絶頂期で危機意識がなかつたからであると分析しています。
- 「知識・技能」の習得に加え、「思考力・判断力・表現力」を育てていくため、授業形態・授業方法の見直し、改善していくことが必要です。そして授業改善をすすめる上でICTは、重要な役割を持っています。

■公開授業について

- 7月6日(水)1限目にK教諭による1年「歴史総合」の公開授業がありました。
- 期末考査の「デジ楽採点」結果を活用し、各設問の正答率一覧を示し、生徒たちに「最も正答率の低かつた問題とその理由」を予測させ、「Jamboard」を使って共有、確認していました。
- 最も正答率が低かつた問題は、「最恵国待遇」を答えさせるものでした。正答率データに基づき、漢字を正確に書く必要や復習プリントに取組む必要などのアドバイスがされました。
- また1学期の授業の振り返りのため、ドイツの風刺画を示し、その意味について「Padlet」を活用してグループワークで解答させる取組、そして授業の最後に「Kahoot!」を活用した歴史クイズ大会なども披露してもらいました。



「Jamboard」を使って、生徒が自分たちの意見を共有していました。

■ICT活用の利便性…ICTで代替できること、増強できることなど

【情報収集】辞書アプリやインターネットを活用し、情報検索、情報収集を行う。

【提示】プロジェクターや大型モニターで図版を見させる、音を聞かせる。教科書本文や演習問題などを示す。

【プリントの配付、提出】これまで、課題としてプリント等を印刷、配付し、提出させ、回収してきた業務を、「classroom」を使って配信し、提出させる。

【共有】【共同編集】生徒の考え、自分の作品の写真等を共有できる。さらに共同してまとめ、共同制作し、発表する。

大切なことは、生徒の学びが深まることです。授業改善にチャレンジしていきましょう。